

党議員団の一般質問

9月議会の一般質問は18～24日の予定
党議員の一般質問は**24日**です。党議員の質問概要は次の通りです。

平良木議員 19番目

学校給食費の無償化について

政府による小学校給食費の無償化実現の方向について、以下の点を聞きたい。

- ① 無償化の見通しをどう認識しているか。
- ② 国による無償化の課題、国や県・市の費用負担、公平性の確保はどう考えているか。
- ③ 国の交付金を活用すれば今年から当市独自で全小中学校での無償化が可能だったのではないかな。また、そうしなかったのはなぜか。

多文化共生の教育について

多様な文化の存在とそれらを尊重する知識と姿勢を学ぶことは非常に重要である。このことに関し、以下の点を聞きたい。

- ① 当市の学校では、多文化共生をどう取り扱っているか。
- ② 外国人が不当に優遇されているなどと言う事実無根の主張や、外国人排除で社会が良くなるなどとする言説がある。これらについて、児童生徒に正確で公正な情報を提供し、外国人を含むすべての人に対して真摯な姿勢で臨むべきことを語りかける取組はどのように行っているか。

橋爪議員 21番目

市内の山城(城跡)について

- ① 市内にある山城の価値をどう認識しているか。
- ② 市内の山城の現状と課題についてどう考えているか。

町田古墳群について

- ① 前方後円墳の発見は「市史に1ページを加える成果」だった。古墳群のその後の実態把握と保護の動きについて説明してほしい。
- ② その後の調査の中で明らかになった課題と方針について聞きたい。
- ③ 案内看板、アクセス道路の整備について聞きたい。

学校給食について

- ① 地場産農産物の使用状況と課題について聞きたい。
- ② 学校給食を通じて、児童生徒の農業への理解を深め、関心を持ってもらためにどのような取組をしているか。

今回、上野議員は一般質問を行いました。
また、中川市長には不信任案を提出する予定ですので、市長への質問は行わず、いずれも教育長の答弁を求める質問としています。

載するとともに、受付で端末操作の説明や、言を丁寧に行うなど、安心して利用してもらえるようにする」と答えました。

原発や地域医療での政策後退、繰り返す不適切発言

中川氏は市長には不適格

原発問題で見せた

大きな変節

中川氏は市長就任前、

「ならない」と付け加えるなど、無責任な言葉を乱発しました。

UPZ議員研究会に名を連ね、再稼働には事前了解権が必要との運動を共にしてきました。ところが市長に就任するとその姿勢が曖昧になり、「事前了解権は必要だが自分では何もしない」という姿勢から、最近では「再稼働の是非については公聴会や県民意識調査も踏まえながらまた考えていきたい」と大きく後退するなど、その態度が大きく変わってきました。

人格否定の発言乱発

中川市長は、就任以来10回を大きく超える不適切発言を繰り返してきましたが、その多くは相手の人格を否定するような内容です。

センター病院建て替え延期の暴挙

次の問題は、地域医療への姿勢です。昨年末突然、センター病院の建て替えの先延ばしを発表。抗議の声に押されて、「2年後には改築すると約束する」と述べた直後、「私としてはどこまで責任を果たせるかわからない」と考えています。

以上のことから、日本共産党議員団は、中川幹太氏は信頼に値せず、今後とも市長にはふさわしくないと考えています。

◆◆◆上野公悦議員が9月議会初日に総括質疑◆◆◆

上野議員はまず、行革の推進に関して「働きやすい職場環境づくり」の進捗をたどりました。

これに対して市長は、「家庭の状況等に応じた勤務時間の調整等を実施し、時間外勤務時間は19・3%減となった。また、いわゆるカスタマーハラスメントへの対応方針も策定し、環境改善を図っていく」としました。

2点目に、上野議員は、木造住宅で94件の耐震診断を行ったものの、耐震改修工事補助金の申請がなかったことを取り上げました。

市長はこの件で、「能登半島地震の発生で市民の防災意識が高まり耐震診断が増えたが、改修に多額の費用を要することや、所有者の多くが高齢者であることから、耐震改修には慎重になつてい」とみられる。今後も、耐震化の一層の推進に向けて、支援していきたい」と答えました。

3点目は、「原子力災害対策」です。上野議員は、複合災害を踏まえた実効性ある避難体制ができたのかをたどりました。

これに対して市長は、「国・県に対し、複合災害時の避難対策の検討を求めた結果、複合災害時に孤立の恐れがある指定避難所への備蓄物資の配備事業の新設、「緊急時対応」の策定、避難行動Q&A集の作成が進められた。また、大島区旭地区で道路除雪や住民の一時移転等の訓練が行われた」と答えました。

最後に上野議員は、休日夜間診療所で年末年始にオンライン診療を行うとしている点について、どのような体制で進めるのかをたどりました。

市長はこれに対して、「スマートフォン等を使用できる15歳以上の軽症の感染症疾患の患者で、オンライン診療を希望する市民を想定しており、実施に当たっては、市ホームページに操作手順を掲載するとともに、受付で端末操作の説明や、言を丁寧に行うなど、安心して利用してもらえるようにする」と答えました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.883 2025年9月14日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>